

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。本年が皆さんにとって明るく希望溢れる年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

昨年には町政運営に対してご理解ご協力をいただきましたことにより感謝申し上げます。ことしもどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は大変暑い年であり、健康管理に苦労された方もいらっしゃるかと思います。また、秋にはクマが多く出没し、不安な日々を過ごされたことと思います。ことしも引き続き注意しながら、安全に暮らせるまちにしていきたいです。

また、一昨年から引き続きの事業として岩手中部工業団地内に新たな工業用地の造成を進めています。令和5年度中に完成し、企業への分譲を進めていきたいと考えております。

上を目指すものです。完成にはまだ時間を要しますが、六原駅前、ひいては金ヶ崎町の活性化に繋がるものと考えております。

子育て支援につきましては、高校生まで医療費無償化、保育園・幼稚園は第2子以降は半額・無料となっております。令和5年度から小中学校の給食費無償化を開始しております。支援については今後も拡大できるよう検討してまいります。

定住化対策につきましては、人が住むために必要な要素として、働く場所、住む場所、子育て支援がセットになると考えております。

奥州市、北上市の活発な経済活動に合わせて本町の特徴を生かした取り組みを進めていきたいと考えております。国道4号の拡幅は目に見える形で物件移転等が進んでおります。これに合わせたかのように、民間のホテルや大型物流倉庫の建設などが進められております。町としてもこのような民間企業の活発な活動に合わせ、定住化

に繋げる住宅地の整備も検討し、金ヶ崎町に住む場所を選んでいただけるよう取り組んでまいりたいと思います。

農業につきましては、後継者不足が大きな課題となっております。田んぼそのものを働きやすくすることや、それを管理する経営体・組織を育成する取り組みを進めてまいります。

除雪の充実については、令和4年度は降雪が少なかつたため対策の効果を十分に確認できない部分がありました。引き続き対策を講じるとともに地域の皆さんが使いやすい支援制度を検討してまいります。

住みやすさ日本一のまちづくりへの取り組みについては、まずは既存の課題を解決することが重要と考えております。町民懇談会や地区の座談会を通じて町民の皆様のお話を伺い、不便・困っているなどの課題はいち早く解決に繋げてまいりたいと思っております。

今後も引き続き、災害に強いまちにしていきたいと考えております。災害といっても種類はさまざまですが、いつ何時発生するかわかりませんが、機材や組織の整備のほ



金ヶ崎町長
高橋 寛寿

か、となり近所の日頃の付き合いは防災力の原点であると考えます。皆様のご意見をいただきながら、今後も安全なまちを目指してまいります。

なお、1月1日に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々のいち早い復興をお祈り申し上げます。今後、町民の皆様とともに適切な支援ができるよう努めてまいります（関連記事11頁）。

本年も皆様のご健康とご活躍を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

令和6年 町勢功労表彰

町勢功労表彰は自治功労、環境功労2部門から2人が選ばれました。

また、町から感謝状が1団体に贈られたほか、農業賞には1人が選ばれ、1月5日に行われた表彰式において高橋寛寿町長から労いの言葉とともに表彰されました。

◆ 自治功労 ◆



及川 喜美子さん (74)
= 西根二ツ堤 =

平成23年7月から令和5年6月まで4期12年、人権擁護委員に従事し、地域住民への人権の擁護と人権思想の普及高揚に多大な貢献をされた。

◆ 環境功労 ◆



小原 康さん (81)
= 六原東町 =

平成15年に地域の公衆衛生組合長、町の環境保全推進員に就任以来、地域のごみステーションやリサイクルステーションの管理、リサイクル指導等の活動を続け、平成17年から金ヶ崎町公衆衛生組合連合会副会長や同会会長等を歴任されるなど、長年、ごみの減量化・資源リサイクル運動の推進等に尽力され、町の公衆衛生の向上に多大の貢献をされた。

◆ 感謝状 ◆



岩手金ヶ崎ガス株式会社
(高橋 庄美代表取締役社長)
= 西根町裏 =

岩手金ヶ崎ガス株式会社の前身会社となる岩手ガス株式会社の創立から50周年を記念して、現金100万円を寄附された。

◆ 農業賞 (農業経営部門) ◆



荒井 康一さん (45)
= 西根和光 =

平成29年に経営継承し、飼養頭数の増頭と農地面積を広げ生乳生産基盤を強化している。町内でも数少ないボックス型の自動搾乳ロボットを導入し、効率的に良質な生乳生産を行っている。また、飼料作物生産者との耕畜連携に取り組んでいるほか、高性能自給飼料生産機械を積極的に導入し、広大な土地での生産の効率化を図っている。

酪農情勢が厳しい中、町内の若手酪農家の中でも関係機関と生産性向上等の経営戦略を立て取り組んでおり、金ヶ崎町の酪農地帯の発展に大いに貢献をされた。

※農業賞は岩手ふるさと農業協同組合との共催事業